

Title	次号目次 前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.12 (1964. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19641201-0129">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19641201-0129</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論説

ソ連経済政策の予測……………加藤 寛  
 ロバート・オウエンと  
 ウイリアム・ゴドウィン(上)……………白井 厚  
 集团的厚生の大概念の形成過程(一)……………松浦 保  
 —パンタレオーニ、バレット、  
 パローネをめぐって—

資料

十九世紀初頭のイングランド  
 における労働移動の現象について……………飯田 鼎  
 —アーサー・レッドフォードの研究「イン  
 グランドにおける労働移動、一八〇〇年—  
 一八五〇年」を中心として—

書評

サンヤコフ  
 『十八世紀フランスにおける王権と夫役』……………渡辺 國廣  
 新刊紹介

前号目次

論説

フランク社会における  
 土地所有の動態について……………宇尾野 久  
 法人利潤、付加価値および売上高の変動……………浜田 文雅  
 アジア低開発地域の経済成長と  
 域内貿易の展望(一九六〇—一九七〇年)……………大西 昭

書評

ゲルハルト・ベッカー著  
 『一八四八年から一八四九年にかけてのケルンにおけ  
 るカール・マルクスとフリードリッヒ・エンゲルス  
 —ケルン労働者協会の歴史によせて』……………飯田 鼎  
 M・ベナル  
 『ラプールの動静  
 —十七世紀パリ南域の事例—』……………渡辺 國廣

新刊紹介